

若手社員が採用を担う

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）は、この20年間で社員数が3倍に増加し、入社3年後の定着率91%を誇る。好調な採用の背景には、若手社員が会社の最重要業務である「採用」を担うなど様々な取り組みがあるという。

厚生労働省が2018年に発表した調査によると、高卒者の39・3%、大卒者の31・8%が卒業後3年以内に離職し、物流業界ではさらにその割合は高く、40%程度にのぼるといわれている。

ダイワコーポレーションは01年に本格的に新卒採用をスタート。当初は業界平均以上の77・8%という離職率の年もあったが、直近の大卒・高卒入社3年以内の離職率は8・9%、定着率は91・1%にまで向上した。

16年卒採用から、入社3年目までの若手社員が中心となって新卒採用業務を行うプロジェクトを開始。責任感やチーム力を養うことができ、主に会社説明会を主導しているため、会社に対しての理解が深まり会社への帰属意識が高まるとい

採用の際に学生と社員が触れ合う機会を多くつくり、大卒採用ではインターンから内定までの期間に最高で5回、人事部門以外の社員と交流する時間を設ける。また、入社後は営業所の枠を超えた交流や、会社を理解する研修、イベントを積極的に開催している。

◆大卒採用◆

入社年度	入社数	在籍数	各年離職率
2015	4	3	25%
2016	6	4	33.3%
2017	4	4	0%
2018	6	6	0%
2019	9	9	0%
合計	29	26	10.3%

=定着率89.7%

◆高卒採用◆

入社年度	入社数	在籍数	各年離職率
2017	2	1	50%
2018	7	7	0%
2019	7	7	0%
合計	16	15	6.2%

=定着率93.8%

高卒・大卒合計定着率：91.1%